

市町連

MORIOKA

盛岡市町内会連合会広報

No. **114** 令和6年
11月号

年3回：7月・11月・2月発行

発行・編集

盛岡市町内会連合会

盛岡市若園町2-2

(盛岡市総合福祉センター)

TEL 623-4690

FAX 623-4699

印刷/杜陵高速印刷株式会社

創立60周年記念式典を挙行

昭和39年に設立した盛岡市町内会連合会は、今年60周年の節目の年を迎えることができました。7月19日にホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングにおいて、ご来賓の皆様を含めて185名の方々にご出席をいただき、記念式典、記念トークイベント及び祝賀会を盛大に開催しました。

記念式典



小枝指会長は式辞で「盛岡市は、当連合会創立より以前から市民協働のまちとして全国から注目されてきたまちであり、市民参加によるまちづくりの歴史と伝統が今に引き継がれている。ニューヨークタイムズ紙において、盛岡市が2023年に訪れるべき都市のひとつに選ばれたのも、単に観光地としての魅力のみならず、脈々と盛岡らしさを育んできた市民の努力の賜である。半世紀を超える時の流れとともに、価値観の多様化や人間関係の希薄化、少子高齢化の進行など、社会環境が大きく変化している。当連合会としても創立60周年を機に気持ちを新たに、関係機関・団体と緊密に連携しながら、市民協働によるまちづくりに力を尽くす」と決意を述べました。

次に、当連合会の発展に多大なる貢献をいただいた平井興太郎前会長、藤村直次郎、長澤涼子両前副会長に対し、感謝状が授与されました。



また、ご来賓として出席いただいた内館茂盛岡市長、遠藤政幸盛岡市議会議員、谷藤裕明盛岡市社会福祉協議会会長それぞれから心のこもったご祝辞をいただきました。

記念トークイベント あのみち このまち 万々歳!!

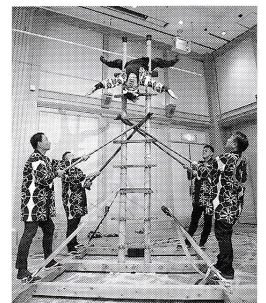
創立60周年を迎え、私たちが未来に向かってどのように歩みを進めていけばいいのかを考えるヒントにしようと企画したトークイベント。IBC岩手放送の人気番組「わが町バンザイ」でお馴染みの浅見智、奥村奈穂美両アナウンサーが、もりおか魅力発信大使・天津木村さんを迎えて楽しいトークを繰り広げました。

奥村さんからは「町内会長さんがサンタさんになり、リヤカーでクリスマスプレゼントを届けてくれている。自分もあと何年かしたらリヤカーを引こうと思っている」こと、浅見さんからは「地域の運動会で実況してちょうだいと言われ、体育館で場内実況した。町内会の活動にはどんどん参加していきたいと思っている」、そして天津木村さんからは「家族で引っ越してきた一番感動したのは岩手の人たちの人柄の良さ。長くつらい冬をみんなで乗り越える連帯感も感じる。その力が、地域で子ども達を育てるだとか、みんなで住みよい町を作っていこうという力に変わっていくと思う」といったお話をいただきました。



祝賀会

記念トークイベントに引き続き開催した祝賀会では、お祝いのアトラクションとして南部火消伝統保存会の皆様に梯子乗りの演技と音頭上げをご披露いただきました。改めまして、記念式典から長時間にわたってご参加いただいた皆様に心から感謝を申し上げます。



盛岡市町内会連合会表彰式

特別表彰1名、一般表彰48名の方々を表彰

令和6年度盛岡市町内会連合会表彰式が、10月16日にサンセール盛岡1階ダイヤモンドホールで行われました。

特別表彰は20年以上の長きにわたり町内会長として職務に精励された方、一般表彰は10年以上町内会役員として地域の発展に尽くしてこられた方々です。

小枝指好夫会長が式辞を述べた後、内館茂盛岡市長から特別表彰者細川光正さん（大館町町内会）のご遺族として出席いただいた細川宮子さんに表彰状が、小枝指会長から一般表彰者代表の大河原伸一さん（東黒石野町内会）に感謝状が授与されました。

次に、内館市長、遠藤政幸盛岡市議会議長及び谷藤裕明盛岡市社会福祉協議会会長から、それぞれ心温まるご祝辞をいただきました。最後に全表彰者を代表して特別表彰者のご遺族・細川宮子さんが「身に余るお祝いのご褒を頂戴し、深く感謝します。引き続き住みよい地域づくりに貢献してまいります」と謝辞を述べました。

表彰式終了後には会場を3階に移し、和気あいあいとした雰囲気の中で表彰祝賀会が開催されました。

式 辞

盛岡市町内会連合会 会長
小枝指 好夫



町内会役員として長年にわたり地域の発展に尽くしてこられた皆様に心から敬意を表し、深く感謝申し上げます。

今年60周年の節目の年を迎えた当連合会は、設立12年目の昭和50年に第1回の表彰式を挙行し、14名の方を表彰したとの記録が残っております。以来約3千3百人もの方々を表彰申し上げてきましたが、表彰を受けてこられた歴代のリーダーの背中には、リーダーを支え、ともに地域にある盛岡らしさを育ててきた多くの市民の皆様がおられます。

表彰を受けられる皆様方への敬意とともに、改めて盛岡のまちづくりの歴史の奥深さと未来につないでゆく責任の重さを感じないわけにはいきません。

表彰を受けられた皆様には今後ますますのご活躍を祈念申し上げるとともに、関係の皆様には当連合会へのさらなるご支援をお願い申し上げます。式辞といたします。

令和6年度 盛岡市町内会連合会表彰式



晴れの表彰を 受けられた皆さん

令和6年度 盛岡市町内会連合会表彰式



【特別表彰】

(敬称略)

故 細 川 光 正	大館町町内会
-----------	--------

【一般表彰】

大河原 伸 一	東黒石野町内会
小 野 伴 忠	東松園四丁目町内会
中 村 威	越場町内会
高 橋 紀 夫	小山町内会
故 吉 田 典 仁	津志田あやめ町内会
三 澤 優	湯沢団地自治会
佐々木 啓 一	四ツ家町内会
上 川 ナ エ	上田第二町内会
佐々木 五十男	箱清水町内会
長 尾 吉 正	黒石野平地区町内会
関 勝 美	西松園町内会
八 木 光 則	青山一丁目親和会
遠 藤 由紀子	月が丘三丁目町内会
千 葉 明 彦	みたけ三丁目町内会
千 葉 浩 敏	みたけ五丁目町内会
中 村 由美子	みたけ中央町内会
柳 村 威	厨川一丁目第二自治会
佐々木 剛 洋	長橋町自治会
佐 藤 英 夫	新庄町内会
故 小 玉 秀 男	御弓町町内会
宮 前 時 雄	桜台自治会
石 澤 巳江子	仙北二丁目自治会
藤 村 裕 子	本宮第一町内会
熊 谷 通 夫	長田町第二町内会

中 村 千 晶	高松二丁目町内会
小山田 隆 夫	上田堤町内会
田 口 明 子	松園中央町内会
菅 原 照 子	青山二丁目自治会
大 濱 真由美	青山三丁目自治会
照 井 あつ子	月が丘一丁目町内会
熊 谷 うた子	西青山二丁目町内会
深 谷 信 江	西青山三丁目町内会
金 崎 キヌ子	みたけ六丁目町内会
加 藤 裕 之	中屋敷町町内会
佐 藤 美 香	上堂自治会
白 石 信 正	安倍館自治会
三 浦 巖	洞清水町内会
番 澤 尅 勇	下米内町内会
田 澤 美津子	加賀野一丁目町内会
福 士 光 一	大日町内会
鈴 木 武	加賀野四丁目町内会
佐 藤 善 光	南仙北二・三丁目町内会
菊 池 良 孝	駒形自治会
佐 藤 健 二	本宮一丁目町内会
菊 地 紀 和	向中野町内会
只 野 幸 子	下太田自治会
山 本 学	和野町内会
小 澤 博 子	津志田16区東町内会

祝 辞



盛岡市長
内舘 茂 様

長年コミュニティ活動の推進に取り組んでこられた皆様の

努力に敬意を表します。

「盛岡市地域づくり協働推進計画」に基づき、地域の特色に応じた地域づくりを実現するため、地域活動の中核を担う町内会・自治会をはじめ、より多くの市民の声を聴きながら、より優しく、誰ひとり取り残さない、より強い、地域経済が元気な私たちの盛岡を作り上げていきます。引き続きお力添えをお願いします。



盛岡市議会議長
遠藤 政幸 様

長年にわたり率先して町内会活動を推進し、地域の発展に

貢献してこられた皆様に深く敬意を表します。

近年、地域の担い手不足や、地域住民の連帯感の希薄化などの課題がある中、町内会の皆様を中心とした積極的な地域活動が今後ますます重要になるものと認識しています。市議会も住み良いまちづくりに力を尽くしていきますので、皆様のご支援・ご協力をお願いします。



盛岡市社会福祉協議会会長
谷藤 裕明 様

長きにわたり地域福祉の向上に貢献いただいたご功績に対

し深く敬意を表します。

本格的な「少子高齢化・人口減少時代」を迎え、また、大規模な自然災害が頻発し、地域コミュニティの大切さがいま一度見直されています。

社会福祉協議会では、「人と人がつながり 共に支え合うまちづくり」の実現のため、地域福祉の推進に積極的に取り組んでまいります。

伝統の継承と魅力ある地域づくり

築川自治振興会(築川地区)

築川ダムを過ぎ、市内から車で25分、東部地区で24戸の集落が築川自治振興会です。

春は山菜採り、秋はきのこ採りで清流築川には釣り人達も多く訪れます。夜の星の輝きは最高です。この地区にある旧宮古街道、盛岡から宮古までは通常の旅人は2泊3日、牛の背中に荷駄をつけての輸送は4泊5日もかかったそうです。



長洞神社の石碑

城内や内陸から木材、木炭、生活必需品などを運び、帰りは海産物を輸送す

ることから、魚介類の商いを指す五十集(いさば)の道とも呼ばれていたそうです。通称「判官堂」と言われる長洞神社の境内には南部藩お抱え力士だった山上作太夫の古碑があります。ある時殿様の怒りにふれて手打ちになった作太夫は「今後南部領から大関は出さない」との言葉を遺したといわれ、毎年旧暦の三月三日に例大祭でお祓いをしていただきます。

盛岡市無形民俗文化財の高館剣舞は、鎌倉軍が平泉の高館を攻めるとき敵を欺く衣装を着て踊ったと伝えられています。昔はお盆の14日に供養碑と初代太夫の墓の前で、その後は各家を回り踊ったらしいですが、今は供養碑と先祖の墓前のみで踊っています。民俗芸能は地域の励ましがあつての伝承であり、今後の後継者育成が課題となっていますが、次の世代が魅力を感じてもらえるよう力を合わせて頑張っていきたいと思います。

(佐々木 重広 記)

市町連広報

あのまち
このまち

令和6年11月号
No.114

昔の情景を再び

天神町自治会(城南地区)

当自治会は天神さんの愛称でお馴染みの天満宮の西側に位置しています。町名に天神の名をいただき、天神町と言えば市民の皆様も大体の位置は理解できます。天神さんは学問の神様、石川啄木の歌碑、そして「あうん」の狛犬があり、多くの人が参拝します。

昔、祭りの日には出店が道路の両側にびっしりと並び、子供達の無礼講の日でもありました。天神さんの近くの家々では軒先に古風な川柳と墨絵で描かれた行燈を飾りました。今では懐かしい真夏の情景です。その頃、自治会にはたくさんの子供達がいたので、青年部では樽神輿二基を作り、町内を巡行しました。今では想像がつかない賑やかなお祭りでした。十数年前から、子供の会員数減少により父母の参加がなければ神輿の巡行は難しく、その後は、新型コロナウイルス感染症で中止となってしまいました。

そこで、昔のように行燈を飾ることで子供達がお祭りに参加できるのではとの提案があり、行燈をつくることになりました。

「おはようございます！」7月の暑い夏の日。今日は天満宮祭典の前に子供達との行燈作りの日。天神町子ども会の子供達が山王児童センターに集まりました。自治会役員と子ども会、そして育成会担当者が、



子供達がつくった行燈

町内で絵画教室を主宰されている佐々木さんのご指導をいただき、行燈の表絵を描きます。何を描くか決めてきた子どももいれば、図書でイメージを膨らます子もいてさまざまでしたが、絵が完成に近づくにつれて子どもたちはどんどん集中し、生き生きとしてきました。子供が減り、天満宮の祭り参加はこの行燈作りのみとなってしまいました。しかし、子供達が一生懸命に和紙に向かっている姿は、天神町自治会の明日への灯と思い、それを消さないためにもできる限り続ける所存です。

(工藤 均 記)

町内会の歌「夢広き月が丘」

月が丘一丁目町内会(青山地区)

平成16年の町内会創立40周年を記念して「夢広き月が丘」という町内会の歌がつけられました。

「夢広き月が丘」

作詩 渡邊ユキ子
作曲 林 芳輝

一、四季折り折りの 光満ち
ヒバリと野火の ススキ野も
夢のごとくに 去りし日々
今変わり来て 月が丘

二、北風ふせぐ 防風林
みたけ開拓 農民の
汗と涙の この大地
住き人集う 月が丘

三、人それぞれに 和を広げ
望みを高く 岩手山
仰ぎて交流 三世代
明るく過ごそうよ 月が丘

当地域は旧陸軍の練兵場だった原野に戦後の食糧増産のため開拓入植した地域です。昭和45年の岩手国体を機に農地から宅地へと大きく変貌し、街として発展し現在

に至っております。「夢広き月が丘」は歴史や未来にわたって大切にしたい心、志を教示した歌になっており、折々の行事で歌い続けられております。



第43回月が丘一丁目町内会大運動会

私たち町内会には歴代の会長や役員・担当者のご尽力と献身によって三世代交流登山・運動会・一人一芸の会・長寿を祝う会・商店会協賛の夏祭りの万灯やさんさ踊りなど、沢山の行事が行われてきました。特に二戸市浄法寺神崎地区との交流での田植え・稲刈り・収穫祭・炭焼き体験・ホテル観賞などは、とても貴重な経験でした。

近年はコロナ禍などで行事の見直しが迫られています。今年も活気と笑顔溢れる「第43回大運動会」を開催することができました。これからも「人の和を大切に」に町内会活動に取り組んでまいります。(伊達 康子 記)